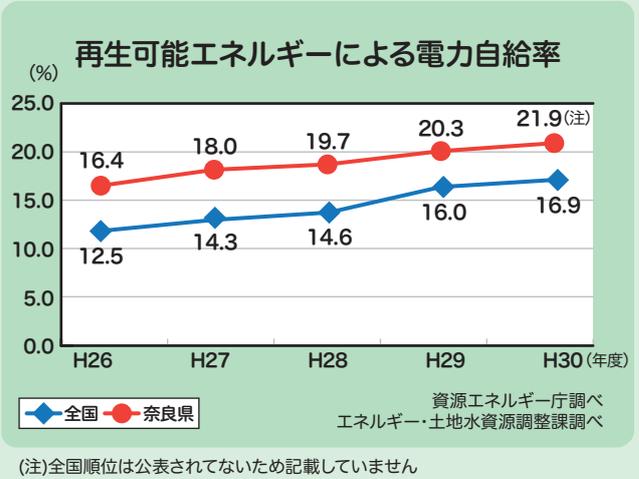
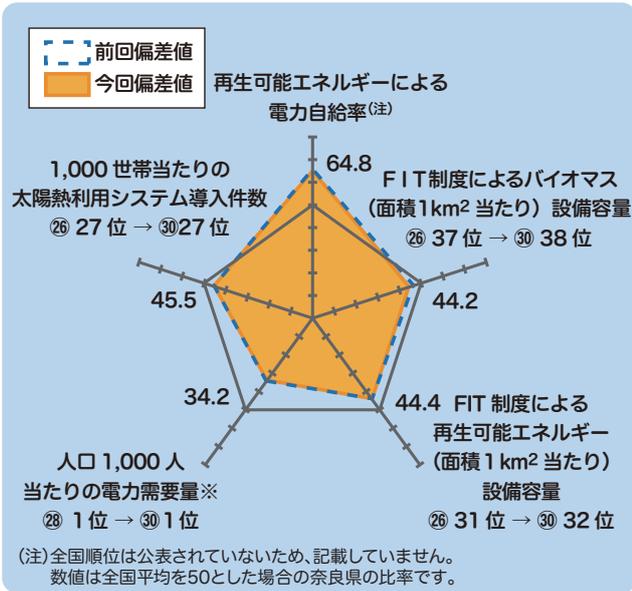
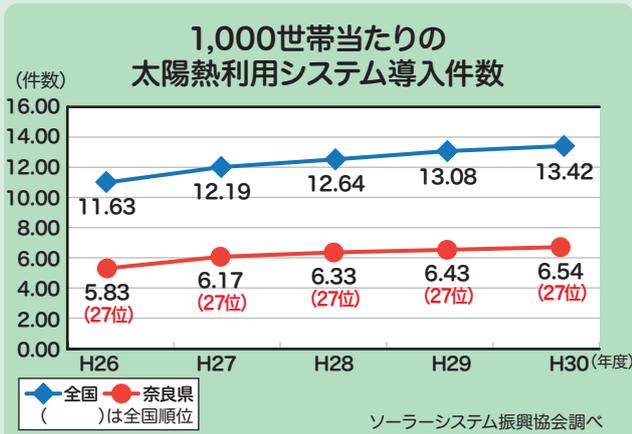




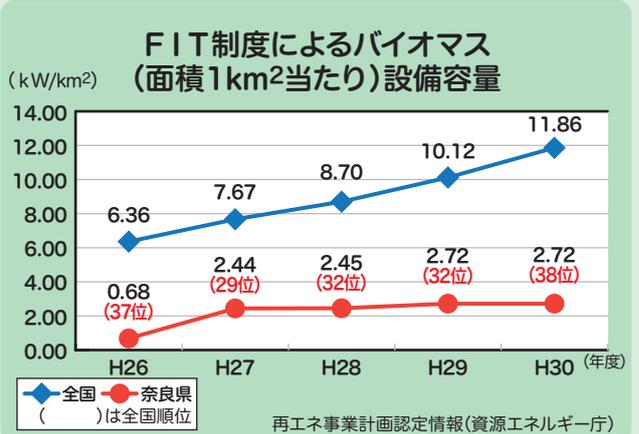
11. エネルギー政策



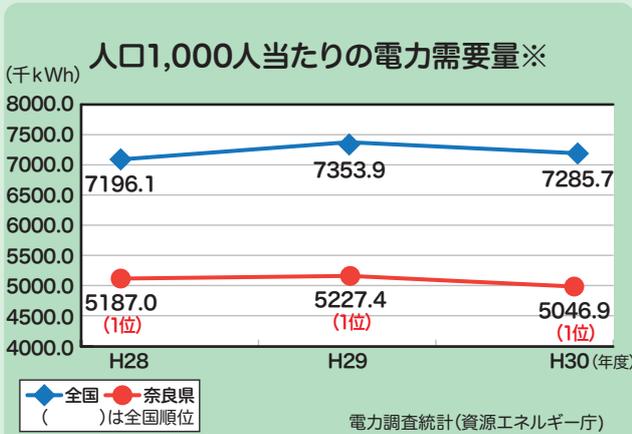
再生可能エネルギーによる電力自給率は上昇しており、奈良県は全国平均より高い水準で推移しています。



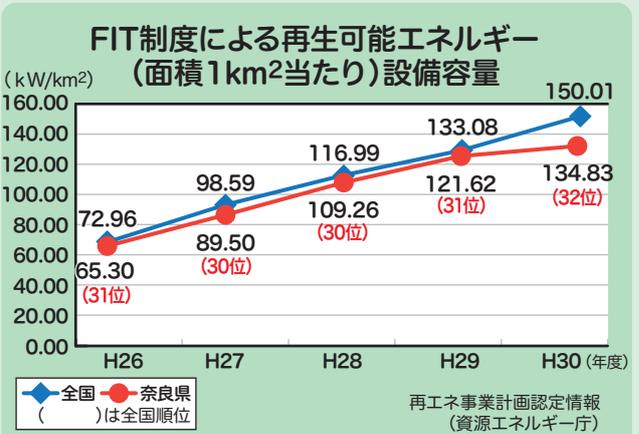
1,000世帯当たりの太陽熱利用システム導入件数は、全国でも奈良県でも、少しずつ増えています。



FIT制度によるバイオマス(面積1km²当たり)設備容量で見ると、再生可能エネルギーは全国では導入が進んでいますが、奈良県では横ばいです。



人口1,000人当たりの電力需要量(年間の電力使用量)は、全国でも奈良県でも減少しています。



FIT制度による再生可能エネルギー(面積1km²当たり)設備容量で見ると、再生可能エネルギーは全国でも、奈良県でも導入が進んでいます。

※は数値が低い方が良くなる指標です。



(61) 節電・緊急時のエネルギー供給

これまでは

- ・電力の逼迫状況は緩和されたため、節電だけでなく、エネルギーを効率的かつ有効に利用する取組を進めてきました。
- ・県内避難所での非常用電源の整備率は、平成31年3月末現在、約**48%**で、緊急時のエネルギー対策が必要です。

もっと良くするために

- ・エネルギーをかしこく使うライフスタイルの定着を図ります。
- ・緊急時に必要なエネルギー対策を進めます。
- ・「第3次奈良県エネルギービジョン」に基づく施策を実行します。

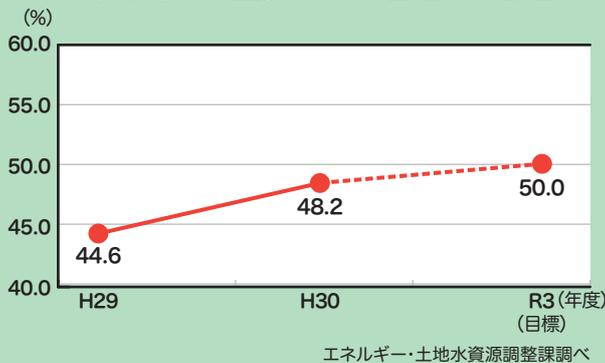
目指す姿

令和3年度までに非常用電源が整備された避難所の割合を**50%以上**にします。

最近の台風では停電の被害をよく聞くから、避難所での自家発電の整備が進むと安心だね。



非常用電源が整備された避難所の割合



緊急時のエネルギー対策として、避難所への非常用電源の導入や、家庭・事業所での自立分散型エネルギーの導入を進めています。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
「奈良の省エネスタイル」の推進	地域の再生可能エネルギー資源を活用した取組への支援		
	創エネルギー・蓄エネルギーシステム導入への支援		
緊急時のエネルギー対策の推進	避難所等における非常用電源導入への支援		



(62) 県内水素ステーション設置・バイオマス利活用の体制強化

これまでは

- ・近畿で唯一県内に水素ステーションがないため設置が必要です。
- ・環境にやさしいエネルギーの利活用が必要です。
木質バイオマスの普及促進等、再生可能エネルギー源の活用を推進しています。
大学と連携し、地域の資源を地域で循環させる仕組みを検討しました。

もっと良くするために

- ・県内初の水素ステーション整備に向けた取組を行います。
- ・木質バイオマスの普及促進などを行います。

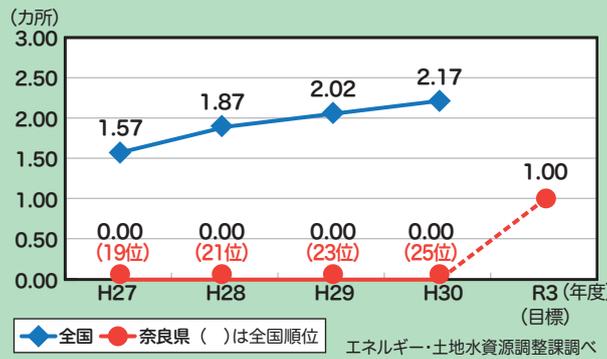
目指す姿

令和3年度までに県内初の水素ステーション開設に向け、民間企業を支援します。

全国では、国の水素基本戦略の「2020年に160箇所を開設する」という目標の達成に向けて、水素ステーションの整備が進んでいるんだ。



水素ステーション設置箇所数



水素社会の実現に向けて、奈良県に水素ステーションを設置してくれる民間企業を応援します。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
水素ステーションの整備支援	整備に対する支援	● 県内で初の水素ステーション開設	
バイオマスエネルギー普及促進	木質バイオマスエネルギー普及促進		



非常用発電機の導入(桜井市)



水素ステーションイメージ



温泉施設に導入された薪ボイラー(天川村)